

これまでのチャリティコンサート活動

クラシック・エイド Vol.1～Vol.9

寄付合計額:40,540,892円 (被災地にお届けした楽器、オーディオ、楽譜などの品物代を含む)

◎出演アーティスト:のべ182名 ◎被災地からのゲスト出演:9団体(ロビー展示を含む)

◆クラシック・エイド Vol.1

音楽に祈りをこめて

2011年5月18日(水) 東京オペラシティ コンサートホール

東日本大震災直後、ジャパン・アーツのアーティストから、私たちに何か出来ることはないかとの声が上がり、コンサートを行うことになりました。時代や国境を越えて人々の魂に寄り添うクラシック音楽が、被災された方々の心に届き、励ましとなりますように、鎮魂と復興への祈りを込めて、30人あまりのアーティストがすべてボランティアで演奏を行ったほか、会場ロビーで募金箱を持ちました。天皇皇后両陛下(当時)のご臨席を賜り、最後には会場の皆さんで「見上げてごらん夜の星」を合唱しました。

●募金額● 合計 5,054,764円

《出演者》

鮫島有美子(司会/ソプラノ)、足立さつき(ソプラノ)、市原愛(ソプラノ)、上原彩子(ピアノ)、河村尚子(ピアノ)、中野翔太(ピアノ)、横山幸雄(ピアノ)、丸山滋(ピアノ)、漆原啓子(ヴァイオリニン)、小林美恵(ヴァイオリニン)、千住真理子(ヴァイオリニン)、長谷川陽子(チェロ)、佐々木亮(ヴィオラ)

◆クラシック・エイド Vol.3 100年後の子供たちへ 音楽の力で復興を

2013年3月9日(土) 東京オペラシティ コンサートホール

第一部は「寄り添う心」「音楽に勇気づけられて」、第二部は「音楽に希望を乗せて」というテーマのもと、音楽の力を信じて3回目を開催しました。福島県立葵高等学校合唱部の皆さんに出演いただき、流れる感動ある歌声が感動を呼びました。天皇皇后両陛下もご臨席賜りました。会場ロビーには、「クラシック・エイド Vol.2」の寄付先からいただいた、たくさんのお便りや写真を展示しました。

●募金額● 合計 5,667,370円

《出演者》

佐藤しのぶ(ソプラノ)、鈴木慶江(ソプラノ)、森麻季(ソプラノ)、佐藤美枝子(ソプラノ)、坂本朱(メゾ・ソプラノ)、河野克典(バリトン)、錦織健(テノール)、水口聰(テノール)、三船優子(ピアノ)、館野泉(ピアノ)、寺田悦子(ピアノ)、練木繁夫(ピアノ)、河原忠之(ピアノ)、松本美和子(ピアノ)、上原彩子(ピアノ)、清水和音(ピアノ)、横山幸雄(ピアノ)、仲道郁代(ピアノ)、金子三勇士(ピアノ)、千住真理子(ヴァイオリニン)、内田輝(ヴァイオリニン)、木野雅之(ヴァイオリニン)、宮内道子(ヴァイオリニン)、木嶋真優(ヴァイオリニン)、滝千春(ヴァイオリニン)、小林美恵(ヴァイオリニン)、鈴木康浩(ヴィオラ)、渡邊信一郎(ヴィオラ)、長谷川陽子(チェロ)、遠藤真理(チコ)、星秀樹(コンtrapassus)、赤坂達三(クラリネット)、原田節(オンド・マルトノ)、江原陽子(司会)、足立さつき(ソプラノ/司会アシスタント)、曾我大介(指揮/司会アシスタント)

◆クラシック・エイド Vol.2

そして一步前へ! 音楽の力で復興を

2012年3月10日(土) 東京オペラシティ コンサートホール

震災より一年が経過し、まだまだ復興への道のりは長いことを感ずるなか、2回目を開催しました。翌日に追悼式を控えた皇后陛下もご臨席賜りました。第一部は「祈りと希望」、第二部は「日本の歌～故郷への想い」というテーマで演奏が行われ、前回と同様に出演者がロビーにて募金を行いました。この回では震災で失われた楽器や音楽に関する品物を必要とする皆様のもとへ直接お届けたいと考え、希望を募りました。福島・岩手・宮城・茨城の各県からご希望が寄せられました。

●寄贈先と品物(購入金額)● 合計 3,057,811円

1.茨城県高萩市立竹山小学校 学校用オルガン1台
2.岩手県陸前高田市立気仙中学校 PAシステム1台、PCMレコーダー1台他
3.岩手県陸前高田市立竹駒小学校 電子ピアノ1台

4.岩手県陸前高田市立広田小学校 ソプラノ木琴1台、教材用楽譜とCD3種
5.岩手県ひまわりジュニアギタークラブ プライムギター3台
6.岩手県宮古市立津軽石中学校 電子ピアノ1台
7.岩手県宮古市立宮古小学校 フルート1台、トランペット1台
8.福島県南相馬市立大穂小学校 ユーフォニウム1台 トランペット1台
9.福島県南相馬市立鳩原小学校 トランペット4台
10.福島県南相馬市立原町第一中学校 コンガ3台他
11.財団法人宮城県文化振興財団 トーンチャイム1台



◆クラシック・エイド Vol.5

子供の未来を守るために

2015年3月14日(土) 東京オペラシティ コンサートホール

復興支援がまだ必要とされている中、「子供の未来を守るために」という想いで開催した5回目となる「クラシック・エイド」も、たくさんのお客様にお越しいただきました。福島県立会津学鳳中学校・高等学校合唱部の皆さんをお招きし、心に響く素敵な歌声、アーティストによる復興への祈りが込められた演奏に、会場が一体となりました。会場での募金もたくさんの方からお気持ちをいただきました。

●募金額● 合計 4,456,465円

《出演者》

カルテット・アマービレ(弦楽四重奏団)、川本嘉子(指揮、ヴィオラ)、篠原悠那(ヴァイオリン)、多田聰子(ピアノ)、館野泉(ピアノ)、成田達輝(ヴァイオリン)、錦織健(テノール)、林美智子(メゾ・ソプラノ)、福島県立橘高等学校合唱部、松田華音(ピアノ)、森麻季(ソプラノ)、好本恵(司会)

◆クラシック・エイド Vol.8

子供たちの未来を守るために

2018年3月10日(土) 東京オペラシティ コンサートホール

福島県立磐城高等学校合唱部の皆さんをお招きし、合唱曲ほかソプラノの森麻季と「千住明: エターナル・ライト」を共演しました。明るく快活な演奏にお客様から惜しみない拍手が贈られました。天皇・皇后両陛下にもご臨席賜りました。すべての方が心からの笑顔で過ごすことができるよう、ジャパン・アーツ、そしてアーティストは継続することの大切さをこのコンサートを通して発信し続けています。

●募金額● 合計 3,945,042円

《出演者》

岡本侑也(チェロ)、木嶋真優(ヴァイオリニン)、小林沙羅(ソプラノ)、阪田知樹(ピアノ)、錦織健(テノール)、森麻季(ソプラノ)、山岸茂人(ピアノ)、横山幸雄(ピアノ)、福島県立磐城高等学校合唱部、好本恵(司会)

◆クラシック・エイド Vol.6

子供たちの未来を守るために

2016年3月13日(日) 東京オペラシティ コンサートホール

この回では福島県より2つの学校をお招きしました。福島県立保原高等学校美術部の皆さんが制作された、震災で壊れた校舎に花を描く「がれきに花を咲かせようプロジェクト」の作品を展示し、たくさんの方にご覧いただきました。福島県立郡山高等学校合唱団の皆さんによる、凛とした清らかな歌声はお客様の心に沁みわたり、今回の「クラシック・エイド」ではこのVol.6以来、2回目の出演となります。

●募金額● 合計 4,786,561円

《出演者》

森麻季(ソプラノ)、金子三勇士(ピアノ)、仲道郁代(ピアノ)、丸山滋(ピアノ)、千住真理子(ヴァイオリニン)、滝千春(ヴァイオリニン)、千住明(司会)、山田美也子(司会)、福島県立葵高等学校合唱部

◆クラシック・エイド Vol.7

子供たちの未来を守るために

2017年3月4日(土) 東京オペラシティ コンサートホール

復興に向けて力強く生きるお一人お一人の心に、希望の光を見出すことができますよう、アーティスト一同心を込めて演奏しました。福島県立橘高等学校合唱部の皆さんに出演いただき、前向きで元気な歌声にお客様から惜しみない拍手が贈られました。また、書道家でジャパン・アーツの社員でもある阿曾優子が、復興支援への想いを「書」でも表現したいと、「花は咲く」の歌詞を書いた作品をロビーに展示しました。

●募金額● 合計 4,526,294円

《出演者》

安藤赴美子(ソプラノ)、上村文乃(チェロ)、千住真理子(ヴァイオリニン)、館野泉(ピアノ)、仲道郁代(ピアノ)、西村悟(テノール)、林美智子(メゾ・ソプラノ)、福島県立福島東高等学校合唱部、藤田真央(ピアノ)、丸山滋(ピアノ)、好本恵(司会)、福島県立郡山高等学校合唱部

◆クラシック・エイド Vol.4 100年後の子供たちへ 音楽の力で復興を

2014年3月16日(日) 東京オペラシティ コンサートホール

福島県から湯本高等学校吹奏楽部の皆さんに活躍ある演奏を披露していただきました。天皇皇后両陛下もご臨席賜りました。震災直後は衣食住についての早急な支援が必要でしたが、震災より3年が経ち、被災された方々の心のケアがますます重要となってきた時期であります。音楽を通じて、会場にご来場いただいた皆様と復興への想いを馳せました。出演したアーティストによるメッセージも展示しました。

●募金額● 合計 4,344,899円

《出演者》

錦織健(テノール)、仲道郁代(ピアノ)、仲道祐子(ピアノ)、丸山滋(ピアノ)、今井奈緒子(オルガン)、川本嘉子(ヴァイオラ)、千住真理子(ヴァイオリニン)、長谷川陽子(チェロ)、TSUKEMEN(アンサンブル)、鮫島有美子(司会)、福島県立湯本高等学校吹奏楽部

◆クラシック・エイド Vol.2

そして一步前へ! 音楽の力で復興を

2012年3月10日(土) 東京オペラシティ コンサートホール

震災より一年が経過し、まだまだ復興への道のりは長いことを感ずるなか、2回目を開催しました。翌日に追悼式を控えた皇后陛下もご臨席賜りました。第一部は「祈りと希望」、第二部は「日本の歌～故郷への想い」というテーマで演奏が行われ、前回と同様に出演者がロビーにて募金を行いました。この回では震災で失われた楽器や音楽に関する品物を必要とする皆様のもとへ直接お届けたいと考え、希望を募りました。福島・岩手・宮城・茨城の各県からご希望が寄せられました。

●寄贈先と品物(購入金額)● 合計 3,057,811円

1.茨城県高萩市立竹山小学校 学校用オルガン1台
2.岩手県陸前高田市立気仙中学校 PAシステム1台、PCMレコーダー1台他
3.岩手県陸前高田市立竹駒小学校 電子ピアノ1台

4.岩手県陸前高田市立広田小学校 ソプラノ木琴1台、教材用楽譜とCD3種
5.岩手県ひまわりジュニアギタークラブ プライムギター3台
6.岩手県宮古市立津軽石中学校 電子ピアノ1台
7.岩手県宮古市立宮古小学校 フルート1台、トランペット1台
8.福島県南相馬市立大穂小学校 ユーフォニウム1台 トランペット1台
9.福島県南相馬市立鳩原小学校 トランペット4台
10.福島県南相馬市立原町第一中学校 コンガ3台他
11.財団法人宮城県文化振興財団 トーンチャイム1台

子供たちの未来を守るために

東日本大震災復興支援

チャリティコンサート ～クラシック・エイド Vol.10～

音楽の力で復興を!

私たちちは音楽とともに寄り添い、支え続けます。

今日も、明日も、その先も。

出演者一同／ジャパン・アーツ

2020 8.31 [月] 14:00 開演

東京オペラシティ コンサートホール

[主催] ジャパン・アーツ



次回のチャリティコンサート(震災より10年)

クラシック・エイド Vol.11
2021年3月13日(土) サントリーホール



←資料請求QRコード

PROGRAM

第1部

- ◆S.ラフマニノフ(伊藤悠貴編)：夜のじま Op.4-3、ここは素晴らしい Op.21-7
春の水 Op.14-11
《伊藤悠貴(チェロ) & 尾崎未空(ピアノ)》
- ◆R.シュトラウス：4つの歌 Op.27より「Morgen(明日の朝)」
《森麻季(ソプラノ) & 大谷康子(ヴァイオリン) 椎野伸一(ピアノ)》
- ◆グリーグ：叙情小曲集 Op.62より 第2曲「感謝」
《大谷康子(ヴァイオリン) 椎野伸一(ピアノ)》
- ◆ジョルダーノ：オペラ「アンドレア・シェニエ」より“ある日、青空を眺めて”
《西村悟(テノール) 椎野伸一(ピアノ)》
- ◆プッチーニ：オペラ「つばめ」より“ドレッタの夢”
《森麻季(ソプラノ) 椎野伸一(ピアノ)》

- ◆ベートーヴェン(ヘルマン編)：3つの二重奏曲 第1番 WoO.27-1
《大谷康子(ヴァイオリン) & 伊藤悠貴(チェロ)》
- ◆ドヴォルザーク：オペラ「ルサルカ」より“月に寄せる歌”
- ◆小林秀雄・作曲、野上彰・作詞：落葉松
《松本美和子(ソプラノ) 椎野伸一(ピアノ)》

休憩

第2部

- ◆シューマン：「子供の情景」Op.15より
『見知らぬ国の人々』『鬼ごっこ』『トロイメライ』『詩人は語る』
《尾崎未空(ピアノ)》
- ◆レハール：オペレッタ「メリー・ウイドウ」より“唇は語らずとも”(メリー・ウイドウ・ワルツ)
《森麻季(ソプラノ) & 西村悟(テノール) 椎野伸一(ピアノ)》
- ◆J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より第5曲“シャコンヌ”
《千住真理子(ヴァイオリン)》
- ◆ドビュッシー：ベルガマスク組曲より“月の光”
- ◆ブームス：間奏曲 Op.118-2
《仲道郁代(ピアノ)》
- ◆菅野よう子・作曲、岩井俊二・作詞：花は咲く
～NHK「明日へ」東日本大震災復興支援ソング
《松本美和子(ソプラノ) & 森麻季(ソプラノ) & 西村悟(テノール) 尾崎未空(ピアノ)》

司会：好本 恵
構成：新井鷗子

※曲目、演奏順は変更になる場合がございます。

本公演収益金の一部と会場募金は「公益財団法人みちのくみらい基金」などを通じて、東日本大震災および2019年の台風15号・19号など近年の自然災害への復興支援、災害で困難を抱える子どもたちに加え、新型コロナウィルス感染症とたかう関係機関へ寄付させていただきます。

PROFILE

伊藤 悠貴
(いとう ゆうき／チェロ)



© Hideki Shiozawa

椎野 伸一
(しいの しんいち／ピアノ)



© Kanya Kanehira

西村 悟
(にしむら さとし／テノール)



© Yoshinobu Fukaya

好本 恵
(よしもと めぐみ／司会)



*五十音順

大谷 康子
(おおたに やすこ／ヴァイオリン)



© Masahige Ogata(SCOPE)

千住 真理子
(せんじゅ まりこ／ヴァイオリン)



© Kiyotaka Saito(SCOPE)

松本 美和子
(まつもと みわこ／ソプラノ)



© Mari Kosenju

尾崎 未空
(おざき みそら／ピアノ)



© Misora Ozaki

仲道 郁代
(なかみちいくよ／ピアノ)



© Yuko Nakadou

森 麻季
(もりまき／ソプラノ)



© Makimori Sone

東日本大震災 復興支援 チャリティコンサート
～クラシック・エイドVol.10～

出演者からのメッセージ
<https://www.japanarts.co.jp/news/p5361/>



※館野泉は本人の都合により出演を見合わせることとなりました。

館野 泉からのメッセージ



「自然是美しく豊かで生きとし生けるものに限りない恵みを与えてくれますが、同じ自然が恐ろしい牙を剥き、どのように大きな被害と困窮をもたらしていくかも計り知れないものです。音楽家には何が出来るかを考えても、行き着く先はいつも同じ。生きていくほかはないのです。岩の間から清水が湧きだし、風が野を渡る。そのように心をときめかすことが出来たらいいなといつも思います。」

今回はクラシック・エイドに参加できず残念ですが、いかなるときも音楽によって皆さんの心に豊かさがもたらされることを願っています。」



館野 泉 × 二瓶 純一
(ピアニスト) (ジャパン・アーツ 代表取締役社長)
特別対談動画

<https://youtu.be/qpLcBxnon1Y>

